



Yomeishu



第96期
中間株主通信
(平成25年4月1日～平成25年9月30日)



養命酒製造株式会社

証券コード：2540

経営理念

生活者の信頼に応え、
豊かな健康生活に貢献する

中期経営計画 基本方針

(平成24年4月～平成27年3月)

持続的成長に向けた
事業構造の变革

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここに、養命酒製造株式会社の第96期上半期(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)の営業の概況をご報告いたします。



代表取締役社長 塩澤 太朗

第96期上半期の業績の概要

第96期につきましては、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、「持続的成長に向けた事業構造の变革」を基本方針とする中期経営計画の2年目として、「新規事業領域の拡大と成長性の確保」の各施策に取り組んでまいりました。6月に新商品「食べる前のうるる酢」、「檸檬とハーブのお酒」、「林檎とハーブのお酒」を発売し、7月には埼玉県鶴ヶ島市の「鶴ヶ島太陽光発電所」が稼働しました。また、「養命酒」の効率的かつ効果的な販売促進活動により、「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」に努めました。

中期経営計画 主要戦略

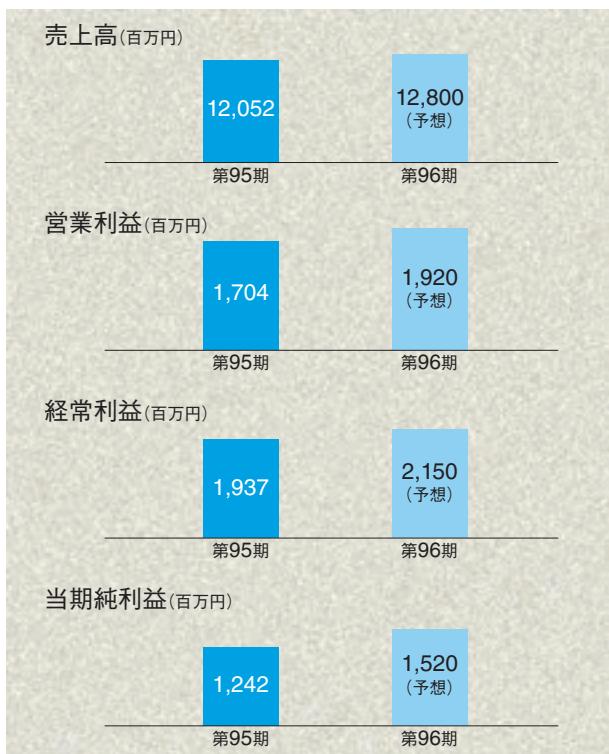
- **新規事業領域の拡大と成長性の確保**
 - ・ 6月に新商品発売
 - 「食べる前のうるる酢」
 - 「檸檬とハーブのお酒」
 - 「林檎とハーブのお酒」
 - ・ 7月に「鶴ヶ島太陽光発電所」稼働
- **養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築**
 - ・ 「養命酒」の効率的効果的販売促進活動による収益構造の一層の改善

当第2四半期累計期間の業績は、「養命酒」の売上が堅調に推移したこと及び新商品等が寄与し、売上高は6,122百万円（前年同四半期比7.1%増）、営業利益は942百万円（前年同四半期比9.6%増）、経常利益は1,085百万円（前年同四半期比9.2%増）となりました。四半期純利益につきましては、「くらすわ」について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失として628百万円を特別損失に計上したことにより、129百万円（前年同四半期比80.1%減）となりました。

- 「養命酒」の売上が堅調
- 新商品等の売上が寄与
- 売上高 前年同四半期比 7.1%増
- 営業利益 前年同四半期比 9.6%増



今後の取組みと業績予想



今後の取組みにつきましては、中期経営計画の2年目として、その目標の達成に向けて、各施策を実施してまいります。

養命酒関連事業につきましては、「養命酒」の新規顧客の獲得を目的として、引き続き効率的、効果的な販売促進活動に取り組むとともに、本年6月に発売した「フルーツとハーブのお酒」は小売店と連携した店頭販売促進活動を積極的に実施し、「食べる前のうる酢」は商品認知を獲得していくことを目的としてより効果的なプロモーションを展開してまいります。

施設運営事業につきましては、「くらすわ」のレストラン、ショップの集客、客単価の向上、販路の拡大や収益構造の改善に取り組んでまいります。

また、本年12月1日には、中期経営計画の施策の一環として、100%子会社（非連結）であるヤマツル株式会社を吸収合併いたしました。これにより、当社グループにおける経営の効率化及び保有資産の有効活用を図ってまいります。

このような取組みの中で、通期の業績予想につきましては、売上高12,800百万円、営業利益1,920百万円、経常利益2,150百万円となる見込みです。また、当期純利益につきましてはヤマツル株式会社の吸収合併により抱合せ株式消滅差益730百万円を特別利益に計上することを見込んでおり、1,520百万円となる見込みです。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

養命酒関連事業

「養命酒」の売上に「ハーブのお酒」、「食べる前のうるる酢」、「家醸本みりん」、「ミネラルウォーター」、「ドリンク剤」、「サプリメント類」の売上を合算いたしまして、養命酒関連事業の売上高は5,813百万円（前年同四半期比6.6%増）となりました。

◆養命酒

安定的な販売を堅持するため、効果的な販売促進活動に努めました。「女は7の倍数、男は8の倍数」の節目年齢における養生を訴求するとともに、「胃腸の疲れ」や「ストレス」、「夏の暑さからくる疲れと胃腸虚弱」をテーマとしたテレビスポット広告をエリア毎に順次実施したことに加え、ウェブキャンペーン、雑誌とのタイアップ広告、首都圏における交通広告、ラジオ広告等を実施しました。また、これらに連動し、店頭における販売促進活動を展開しました。特にウェブキャンペーン、交通広告やラジオ広告では、ターゲット層の幅を広げ、若年層や男性に向けた訴求を行うなど、新たな顧客の獲得に注力しました。



©さいとう・たかを/リイド社



◆新商品関連

新商品「食べる前のうるる酢」につきましては、関東1都6県のコンビニエンスストアで発売し、認知度を高めるためのテレビスポット広告、雑誌、交通広告等による訴求に加えて、コンビニエンスストア店頭やウェブでのキャンペーン、サンプリングによる販売促進活動を展開しました。また、「ハーブのお酒」につきましては、「ハーブの恵み」に新商品「檸檬とハーブのお酒」、「林檎とハーブのお酒」の2種類を加え、小売店の取扱い店舗数の拡大に注力するとともに、店頭における露出向上や、メインとなる女性ターゲット層に対する試飲会、イベントへの参加、ウェブキャンペーン等の販売促進活動を実施しました。

◆海外での取組み

東南アジア諸国を中心として各国の市場環境に即したマーケティング活動に取り組み、「養命酒」の理解と知名度の向上や商戦期である中秋節における販売促進活動に努めるとともに、「養命酒」以外の商品のテスト販売や現地需要の調査など輸出領域の拡大に向けた各施策に取り組みました。

◆Yomeishuオンラインショップ

インターネット通信販売サイト「Yomeishuオンラインショップ」につきましては、「くらすわ」販売商品、新商品等、取扱品目の拡充に取り組みむとともに、「養命酒」の顧客への案内や「養命酒健康の森」、「くらすわ」への来場者に向けた紹介、販売促進キャンペーンの実施により、好調に推移しました。

施設運営事業

◆「くらすわ」「養命酒健康の森」

「くらすわ」の売上に駒ヶ根工場見学施設「養命酒健康の森」の売上を合算いたしまして、施設運営事業の売上高は238百万円（前年同四半期比9.0%増）となりました。

「くらすわ」につきましては、開業3周年イベントを始めとして各種イベントの開催により集客に努め、長野県の地元産品の取扱拡充や、首都圏を始めとした催事出店、ランチメニューの充実、ディナーの団体客の取り込みなどに注力し、知名度の向上もあり、前年同四半期と比較し売上は堅調に推移しました。また、「養命酒健康の森」につきましても来場者数、売上ともに順調に推移しました。

なお、「くらすわ」につきましては、開業以来営業損失を計上しており、当事業年度においてキャッシュ・フローの黒字化を目指してまいりましたが、繁忙期である夏場を終えた第2四半期累計期間の進捗から、当事業年度の計画達成が困難な見込みとなり、今後も収益改善には時間を要すると判断し、固定資産の減損処理を行いました。

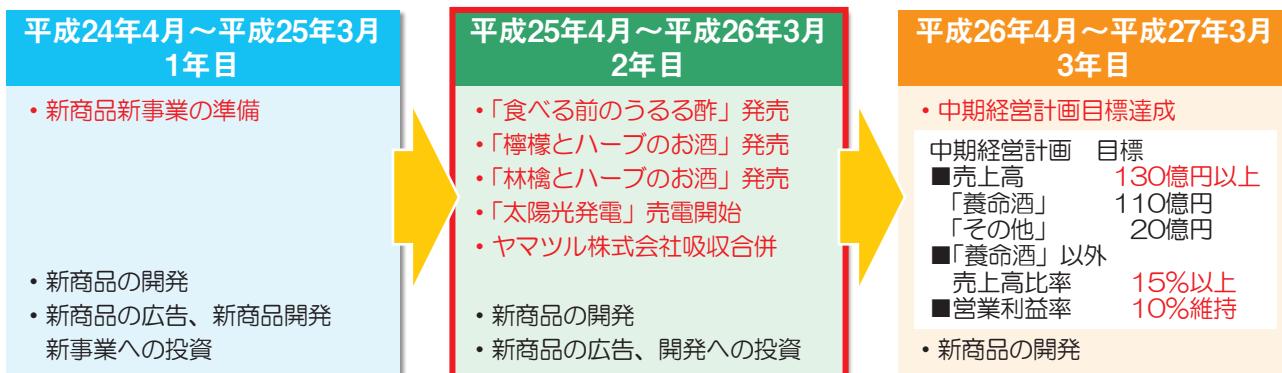


その他

◆「不動産賃貸」「鶴ヶ島太陽光発電所」

不動産賃貸と本年7月に稼働した鶴ヶ島太陽光発電所の売上を合算し、売上高は70百万円（前年同四半期比55.0%増）となりました。

中期経営計画



くらすわ催事出店

当社の運営する商業施設「くらすわ」（諏訪市）が東急本店（渋谷区）にて期間限定で催事出店しております。ハム・ソーセージ、お漬物、お菓子等「くらすわ」のオリジナル商品約80品目をご紹介します。12月末日までの出店となりますので、お近くにいらした際にはぜひお立ち寄りくださいませ。



「くらすわ」東急本店催事出店

期間：2013年9月5日～12月31日

営業時間：10：00～20：00

場所：東京都渋谷区道玄坂2-24-1

東急本店地下1階 食品売場



さいたまスマイルウーマンフェスタ出展



9月14日、15日の2日間、さいたまスーパーアリーナにて開催された女性向け商品・サービスの展示・即売・体験イベント「SAITAMA Smile Women フェスタ」に当社もブースを出展いたしました。

ブースでは、現代女性にキレイをサポートする「フルーツとハーブのお酒（檸檬・林檎）」や「ハーブの恵み」の試飲、即売会を実施し味を知っていただくとともに、美容系飲料「食べる前のうるる酢」の商品特長を丁寧に説明しながらサンプリングを行いました。

今後も新規事業領域の拡大に向けた施策の一環といたしまして、お客様の視点に立った商品開発や販売促進活動に注力してまいります。

鶴ヶ島太陽光発電所

当社は「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、中期経営計画における「新規事業領域の拡大と成長性の確保」「保有資産の見直しと積極的な活用」および「社会的使命への取組み」の各施策に取り組んでいます。

その施策の一つとして、2013年7月、埼玉県鶴ヶ島市の社有地を有効活用し、「鶴ヶ島太陽光発電所」を開設しました。電力供給懸念の対策や環境への負荷低減により社会貢献に資するものと考えています。

また、鶴ヶ島市役所の提案で始まったパブリックミー

ティング「鶴ヶ島・未来との対話プロジェクト2013」を通じて、地域の大学生や地域住民の皆様のご意見をいただきながら、環境教育に役立てていただくための自然エネルギーの体験施設や、地域の減災・防災の拠点としての施設の活用に協力してまいります。

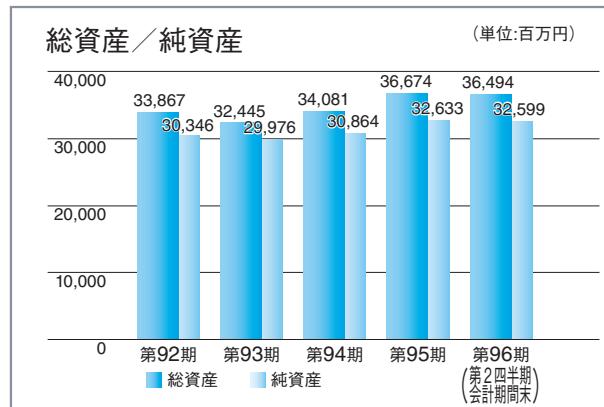
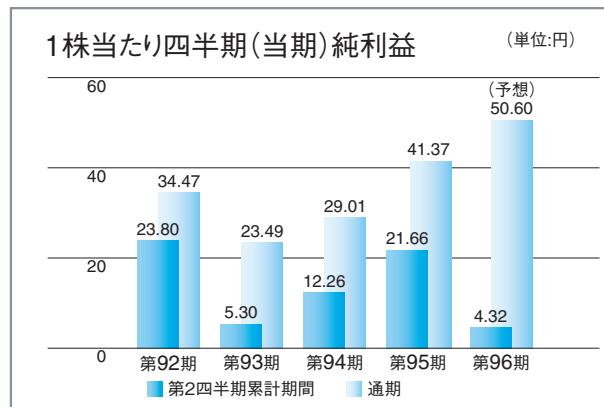
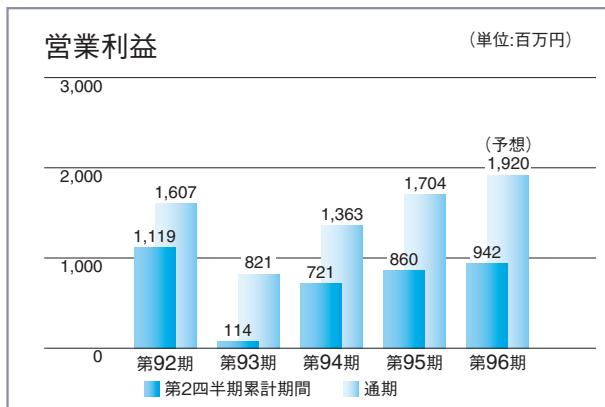
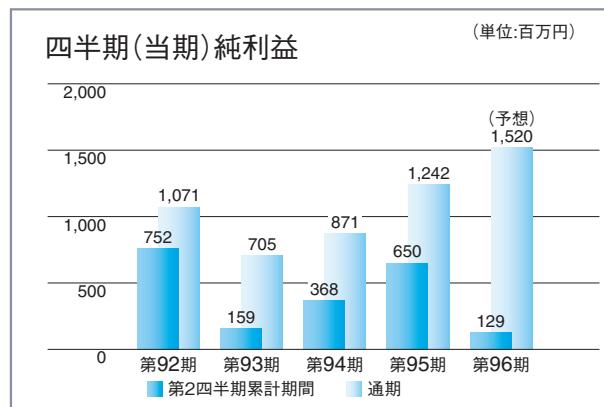
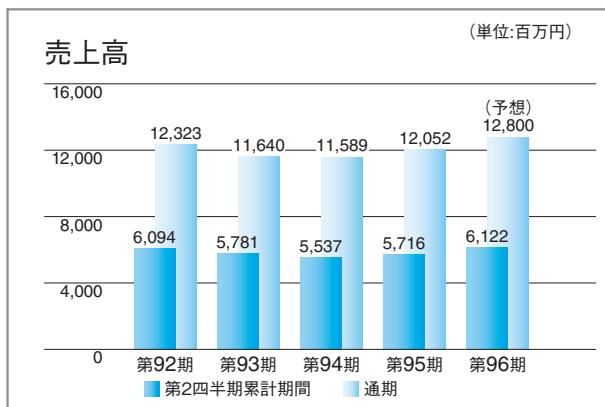
市街地にある太陽光発電所という立地条件を活かし、地域の皆様との連携により検討を重ねてきたこの見学施設の完成は2014年の春を予定しています。



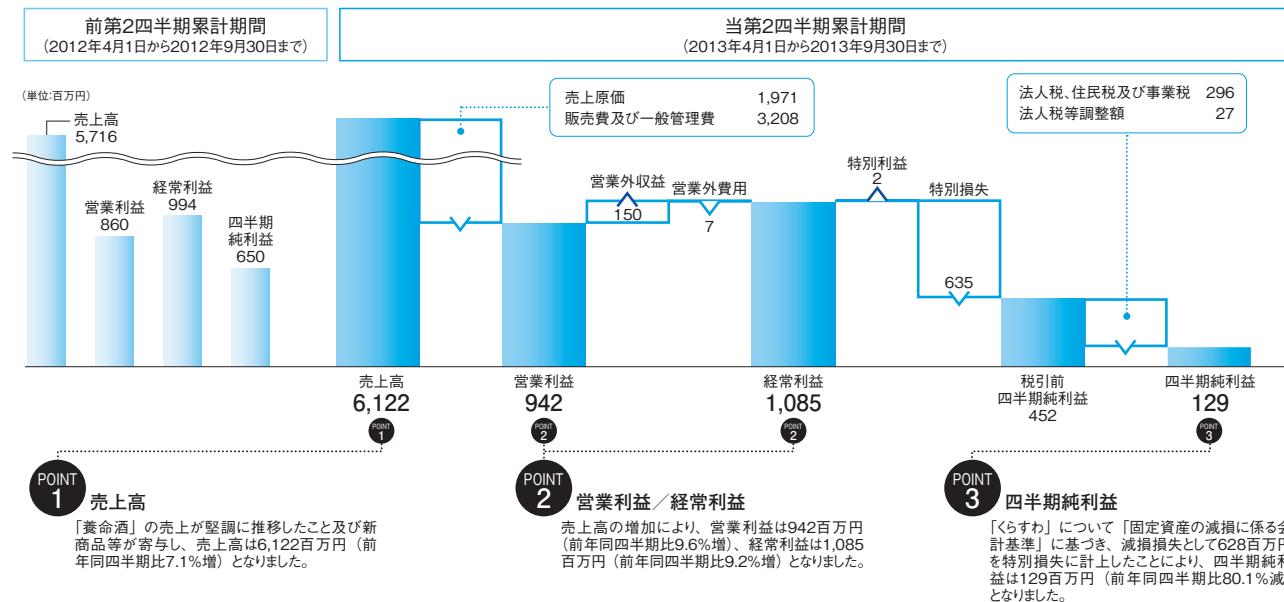
環境教育施設の完成予想模型

鶴ヶ島太陽光発電所
埼玉県鶴ヶ島市鶴ヶ丘331-1
東武東上線 鶴ヶ島駅 徒歩約20分

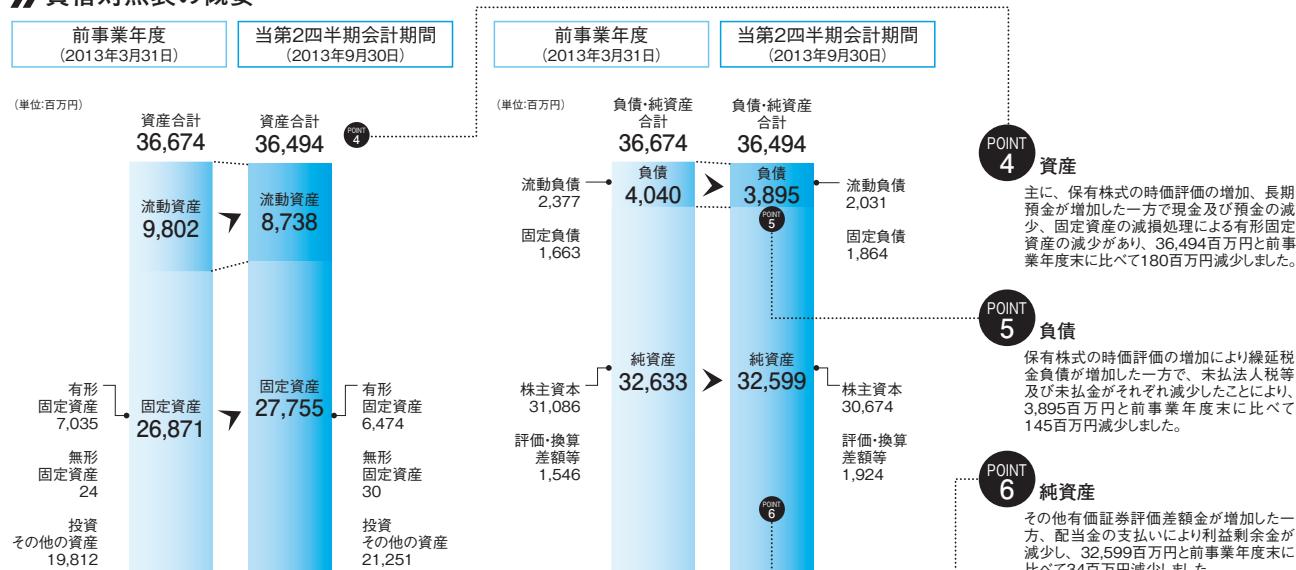
敷地面積	約40,000㎡
発電事業の規模	出力：約1,990kW 年間予想発電量：約2,625kWh/年 ※一般家庭400~500世帯分の年間電力消費量に相当
CO ₂ 削減効果	約945t/年



》 損益計算書の概要



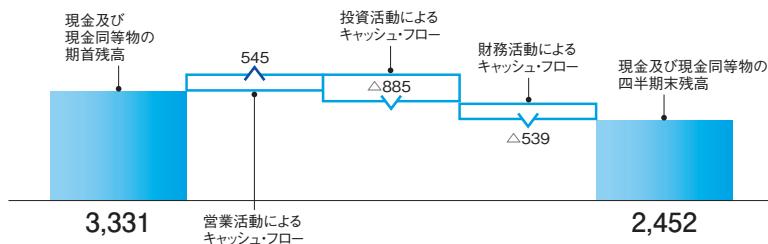
》 貸借対照表の概要



》キャッシュ・フロー計算書の概要

当第2四半期累計期間
(2013年4月1日から2013年9月30日まで)

(単位:百万円)



POINT
7

キャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は、545百万円です。これは、売上高の増加が寄与したことによるものです。

投資活動の結果、減少した資金は、885百万円です。これは主に太陽光発電設備等の有形固定資産の取得による支出及び投資有価証券として債券の取得によるものです。

財務活動の結果、減少した資金は、539百万円です。これは主に配当金の支払いによるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、2,452百万円となりました。

会社概要

(平成25年9月30日現在)

社名	養命酒製造株式会社 YOMEISHU SEIZO CO., LTD.
本店所在地	〒150-8563 東京都渋谷区南平台町16番25号 電話 03-3462-8111 FAX 03-3462-8340 URL http://www.yomeishu.co.jp/
事業所	大阪支店、福岡支店、駒ヶ根工場、 中央研究所、施設運営事業部（くらすわ） 鶴ヶ島太陽光発電所
設立	大正12年（1923年）6月20日
資本金	16億5,000万円
上場	東証市場第1部、名証市場第1部
事業内容	養命酒、酒類及び医薬品等の製造・販売 飲食店及び売店の経営 不動産の賃貸 自然エネルギー等による発電事業及び電気の 供給、販売等に関する業務
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	271名

(平成25年9月30日現在)

役員	代表取締役会長	川村 昌平
	代表取締役社長	塩澤 太朗
	常務取締役執行役員	竹村 彰司
	常務取締役執行役員	田中英雄
	取締役執行役員	吉松 敬雄
	取締役執行役員	大森 勉
	取締役執行役員	宮下 久宜
	取締役執行役員	神林 敬
	常勤監査役	中川 博之
	監査役	笠原 孟
監査役	井出 正一	
監査役	斉藤 隆	

■ 上位10名の株主（平成25年9月30日現在）

株主名	持株数
大正製薬ホールディングス株式会社	6,600千株
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,549
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,487
株式会社八十二銀行	1,300
トーア再保険株式会社	1,096
大同生命保険株式会社	603
株式会社三井住友銀行	529
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	523
キッコーマン株式会社	442
株式会社十八銀行	423

（注）当社は、自己株式を2,959千株保有しておりますが、上記上位10名の株主からは除外しております。

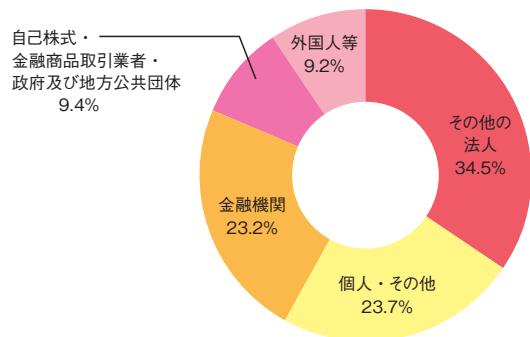
■ 株主メモ

証券コード	2540
一単元の株式数	1,000株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
同総会基準日	毎年3月31日
配当金受領株主確定日	毎年3月31日
株主名簿管理人	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
公告掲載方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.yomeishu.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

■ 株式の状況（平成25年9月30日現在）

発行可能株式総数	132,000,000株
発行済株式の総数	33,000,000株
株主数	3,153名

■ 所有者別株式分布状況（平成25年9月30日現在）



■ 株式に関するお手続きについて

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種お手続き	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に当社株式が記録されている株主様 口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ります。 特別口座に当社株式が記録されている株主様 左記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ願います。
未受領配当金の支払い	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。



養命酒製造株式会社
東京都渋谷区南平台町16番25号
TEL : 03-3462-8111 (代表) FAX : 03-3462-8340